

令和 6(2024)年度 事業計画書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 九州盲導犬協会

令和 6(2024)年度 事業計画書
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

今年度の盲導犬育成目標を 7 頭とし、視覚障がい者へ盲導犬を貸与する。

(2) 盲導犬使用者（以下、ユーザーという）に対するフォローアップ（FU）定期 FU・問題解決 FU 等により、ユーザーの歩行の安全確保のため適切な FU を行い、ユーザーの生活をサポートする。

(3) 犬の飼育および訓練

① 繁殖

計画的な繁殖・出産により子犬目標 30 頭を確保する。また AGBN（Asia Guide Dogs Breeding Network）加盟協会と引き続き連携し、繁殖犬等の確保に努める。

② パピーウォーキング

30 頭の子犬をパピーウォーカーに飼育委託し、飼育講習会（外部講習を含む）及び巡回指導等を通じて、子犬の健康管理とパピーウォーカーに対する飼育指導を実施する。

③ 候補犬の訓練

犬の稟性評価・健康評価を適正に行い、候補犬の訓練を実施する。

④ 盲導犬の健康管理

福岡県獣医師会の助成によるワクチン接種、FU および盲導犬 7 歳時検診の実施などにより、盲導犬の健康維持・状態把握に努め、ユーザーが安心して盲導犬を使用できるよう健康管理指導及び助言を行う。

⑤ 繁殖犬・リタイア犬等のケア

飼育ボランティアおよび獣医師と連携して、それぞれの犬の健康管理に努める。

⑥ 犬舎管理

犬舎担当職員・訓練士が連携して、犬舎の衛生管理および訓練犬の健康管理に努める。

(4) 訓練担当職員の育成

① 職員の育成

知識・技術の向上を目的に、全国盲導犬施設連合会（以下「連合会」という。）が主催する加盟施設職員交流事業等各種研修会に職員を派遣するとともに自己研鑽を奨励する。

② 盲導犬歩行指導員等の養成

連合会が実施する盲導犬歩行指導員・訓練士資格の資格取得に向けて指導育成する。

③ 職員の採用

盲導犬訓練研修生を 2 名新規採用する。

2. 普及啓発事業

(1) 総合訓練センターにおける啓発活動

- ① 盲導犬慰霊祭を令和6年4月に実施する。
 - ② 一般見学会を毎月1回行う（12月は除く）ほか団体見学会を積極的に受入れ、一般社会に対して盲導犬および補助犬法について正しい情報・知識を提供する。
 - ③ 盲導犬宿泊体験希望者を募り、体験歩行会を行うなど盲導犬の普及啓発に努める。
- (2) 盲導犬普及啓発街頭活動
- 商業施設、九州運輸局、RKB ラジオまつり・糸島市民まつり、各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベント及び募金活動に積極的に参加し、盲導犬の受入れに対する理解を深める。
- (3) 講演・実演・体験歩行会の実施
- 行政及びボランティアの協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習に講師を派遣し、盲導犬と視覚障がいについて、正しい情報・知識を提供する。
- (4) 広報活動
- 協会ホームページで盲導犬に関する情報をWEB配信するとともに、協会報「ハーネス九州」を年10,000部発行し広く一般社会に配布する。

3. 関係団体協力事業

- (1) 九州盲導犬友の会ユーザーとの協力及び連携を深め、協会事業の発展に努める。
- (2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等関係団体と協力し、福祉事業としての一層の発展充実を図る。

4. その他

- (1) 苦情・相談について

行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの相談や苦情に迅速に対応する。

- (2) 財政基盤の安定について

 - ① 賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員・寄附支援者に協会報等を通して協会事業の理解と継続的支援をお願いする。
 - ② 盲導犬募金箱の新規設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援をお願いする。

- (3) 施設整備について

 - ① 犬舎棟電動庇の改修工事を実施する。
 - ② 訓練車両の更新について検討する。